

食品安全関係情報( 4月11日 ~5月1日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

4月11日 ~5月1日 (前回3月28日 ~4月10日)		国際機関 WHO・FAO等 (6/4件)	北米 米国 (9/9件)    カナダ (5/1件)		欧州 EU、EFSA (34/31件)    各国 (21/14件)		大洋州 FSANZ等 (6/6件)	アジア 中国 (5/5件)    各国 (7/9件)		中南米等 各国 (0/0件)	その他 報道、論文等も含む (45/28件)
化学物質 (50/31件)	化学物質・汚染物質 (6件)	0	1	0	0	2	0	0	1	0	2
	食品添加物 (13)	0	0	3	5	1	0	0	1	0	3
	農薬 (21)	0	5	1	12	2	0	0	0	0	1
	動物用医薬品 (3)	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0
	器具・容器包装 (3)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	その他 (4)	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0
	計 (50件)	0	7	5	20	5	2	1	2	0	8
微生物・プリオン・自然毒 (33/17件)	細菌 (11件)	0	2	0	0	5	0	1	0	0	3
	ウイルス (6)	2	0	0	0	1	0	1	1	0	1
	原虫・寄生虫 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	プリオン (2)	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	植物性自然毒 (3)	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0
	カビ毒(マイコトキシン) (5)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	動物性自然毒 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 (6)	3	0	0	0	0	1	0	0	0	2	
計 (33件)	5	2	0	1	9	1	2	2	0	11	
新食品等 (10/6件)	新食品 (1件)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	GMO (6)	0	0	0	4	0	0	0	0	0	2
	健康食品 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	アレルギー (2)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナノテクノロジー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計 (10件)	0	0	0	4	3	0	0	0	0	3	
肥料・飼料等 (4/7件)	肥料 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飼料 (4)	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (4件)	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
その他 (41/46件)	表示 (1件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	放射性物質 (2)	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
	栄養 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	その他 (17)	1	0	0	5	3	3	2	1	0	2
	論文情報 (20)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
計 (41件)	1	0	0	5	4	3	2	3	0	23	
海外の食中毒 (0/0件)	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※収集期間については、主たる期間をいう。

## 食品安全関係情報(4月11日~5月1日収集分138件)のうち、主なものの紹介

(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください)

### 【化学物質】

- ・米国食品医薬品庁(FDA)、飲料水へのフッ素添加上限値を0.7mg/Lに変更
- ・フランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)、マラチオンを2A(ヒトに対しておそらく発がん性がある)に分類した国際がん研究機関(IARC)の見解に関する意見書
- ・スペインカタルーニャ州食品安全機関(ACSA)、カタルーニャ州におけるトータルダイエットスタディ報告書 2012年のヒ素に関する状況を公表
- ・オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関(FSANZ)、ツイッターにて食事由来のばく露及びリスク評価について注意喚起

### 【微生物・プリオン・自然毒】

- ・世界保健機関(WHO)、鳥インフルエンザウイルスによる感染情報を更新(3月31日付)
- ・米国疾病管理予防センター(CDC)、アイスクリーム製品が原因とみられるリステリア・モノサイトゲネス(Lm)による集団感染情報を更新
- ・欧州疾病予防管理センター(ECDC)、2012年に欧州で発生した薬剤耐性及び医療機関関連感染症に関する疫学状況をまとめた2014年次疫学報告書を公表
- ・Eurosurveillance:「欧州連合におけるA型肝炎疫学の変化:新たな課題と機会」
- ・フランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)、国内で発生したE型肝炎症例のウイルス感染源及び7つの食品グループのウイルス汚染率等に関する評価報告書を公表
- ・スペイン農業食料環境省(MAGRAMA)、欧州における牛海綿状脳症(BSE)発生状況を更新、スペインで1頭発生(2015年スペイン:1頭目)

### 【新食品等】

- ・欧州委員会(EC)、欧州委員会ファクトシート「欧州のGMO政策に関するQ&A」を公表
- ・欧州委員会(EC)保健衛生・食の安全総局(DG SANTE)、「食品や飼料への遺伝子組換え体の使用に関する決定に今以上の自由度が加盟諸国に」と題するプレスリリースを公表
- ・フランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)、関節痛のサプリメント摂取による肝炎の症例に関する報告書

### 【その他】

- ・国際連合食糧農業機関(FAO)、各国の食品安全に関する、エビデンス情報に基づいて行われる政策決定(evidence-informed decision making)についての地域ワークショップの開催を通知
- ・台湾衛生福利部食品薬物管理署、日本から輸入される特定の食品に放射性物質検査の証明書の添付を義務付ける旨公表